【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成21年7月16日(2009.7.16)

【公開番号】特開2007-324740(P2007-324740A)
【公開日】平成19年12月13日(2007.12.13)
【年通号数】公開・登録公報2007-048
【出願番号】特願2006-150334(P2006-150334)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/225　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　17/02　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　17/18　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/225　Ｅ
Ｇ０３Ｂ　17/02
Ｇ０３Ｂ　17/18　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成21年5月29日(2009.5.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
入力された映像を電気信号に変換する撮像素子と、
音声を出力する音声出力手段とを備えた撮像装置であって、
前記音声出力手段は、前記撮像素子の共振周波数の音波を出力することを特徴とする撮像装置。
【請求項２】
入力された映像を電気信号に変換し、画像信号を出力する撮像手段と、
前記撮像手段により得られた画像信号から画像を形成する画像形成素子と、
音声を出力する音声出力手段とを備えた撮像装置であって、
前記音声出力手段は、前記画像形成素子の共振周波数の音波を出力することを特徴とする撮像装置。
【請求項３】
入力された映像を電気信号に変換し、画像信号を出力する撮像手段と、
前記撮像手段により得られた画像信号から画像を形成する画像形成素子を含む画像形成ユニットと、
音声を出力する音声出力手段とを備えた撮像装置であって、
前記音声出力手段は、前記画像形成ユニットの共振周波数の音波を出力することを特徴とする撮像装置。
【請求項４】
入力された映像を電気信号に変換する撮像素子と、
音声を出力する音声出力手段と、
前記音声出力手段の出力する前記音声により、圧縮された空気を前記撮像素子に導く伝達手段とを備えたことを特徴とする撮像装置。
【請求項５】
入力された映像を電気信号に変換し、画像信号を出力する撮像手段と、

前記撮像手段により得られた画像信号から画像を形成する画像形成素子と、
音声を出力する音声出力手段と、
前記音声出力手段の出力する前記音声により、圧縮された空気を前記画像形成素子に導く伝達手段とを備えたことを特徴とする撮像装置。
【請求項６】
前記音声出力手段は、可聴領域外の周波数の音波を出力することを特徴とする請求項１～５のいずれか１項に記載の撮像装置。
【請求項７】
前記音声出力手段は、前記撮像装置の警告音を出力する為のスピーカであることを特徴とする請求項１～６のいずれか１項に記載の撮像装置。
【請求項８】
前記音声出力手段の音声出力素子は、前記画像形成ユニットの上部に設置されていること特徴とする請求項３に記載の撮像装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】撮像装置
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
本発明は、ゴミを除去する機能を有する撮像装置に関する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
本発明は、係る実情に鑑みてなされたものであり、「ゴミが付着することが望ましくない部材」に付着したゴミを簡便に除去することが可能な撮像装置を提供することを目的とする。さらには、撮像装置の大型化やコストアップを避けながら、ゴミを簡便に除去することが可能な撮像装置を提供することを目的とする。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
本発明の撮像装置は、入力された映像を電気信号に変換する撮像素子と、音声を出力する音声出力手段とを備えた撮像装置であって、前記音声出力手段は、前記撮像素子の共振周波数の音波を出力することを特徴とする。